



紙つぶて

福島県飯館村は全村避難地域
で現在では昼間しか立ち入りが
許されません。ふくしま再生の
会 (田尾陽一代表) に参加する

元大阪府立高校教諭の森本晶子さんは仲間
と二〇一一年以来、村内の植物の放射能を
調査しています。最初は植物による除染も
志向していたのですが、年々植物に含まれ
る放射性物質が少なくなっていることやコ
ケ類とキノコに多いことを見つけました。
これまでに三十種以上の植物を定点測定し
ています。

コケ類の放射能はほかの植物と比べてず
ばぬけて高く、特に道路わきのコケなどに
放射性セシウムが濃縮されているようで
す。この「ため込む」能力を利用して除染
ができるかについても検討しています。食
用の植物も調べています。タラの芽、ウ

飯館村の山野草

ド、ミヨウガなどは年々、濃度が下がって
食べられるものが増えています。

日本で最も美しい村の一つであった飯館
村はもとも山野草の宝庫でした。この春
に小宮地区を森本さんたちと歩いた時に
は、ウワミズザクラや、アオタモの花が山
を彩り、野にはチゴユリ、クリンソウ、ク
マガイソウ等が咲き乱れる夢のような光景
でした。花卉の栽培も盛んで、打ち捨てら
れたビニールハウスの中には真っ青なリン
ドウが残っていました。ここで野草の楽園
をつくっていた村民はまだ、ばらばらに避
難生活を余儀なくされています。この花々
を見られない無念さを思っています。森本さ
んたちのデータが生かされ
る日のくもりを祈りま
す。



(土器屋 由紀子) 富士山
測候所を活用する会理事)